



はまみん

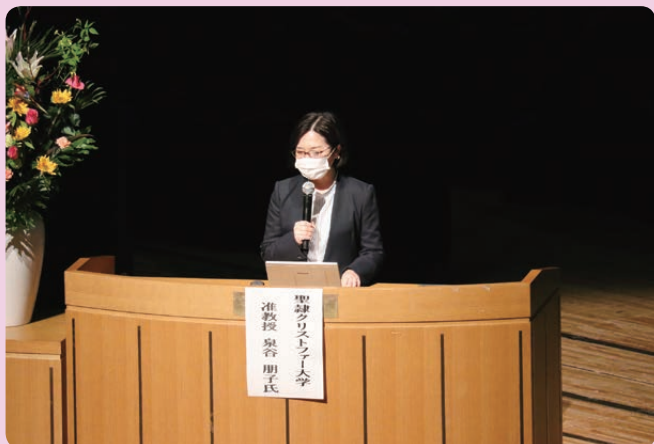


第23号
2022.11

浜松市民生委員児童委員協議会 広報誌



代表授与 鈴木景子 委員（東区 中ノ町地区）



聖隷クリストファー大学 泉谷朋子 准教授



第11回浜松市民生委員児童委員大会を5月16日（月）にアクトシティ浜松大ホールにて開催いたしました。新型コロナウイルスの影響により3年ぶりに市内の民生委員・児童委員及び主任児童委員を一堂に会して開催することができました。

第一部では、浜松市民生委員児童委員協議会会長より、在任期間が7年以上の民生委員・児童委員7名の表彰を行いました。おめでとうございます。

第二部では、聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 泉谷朋子氏をお招きし、「児童福祉を取り巻く環境と児童委員・主任児童委員の役割」についてご講演いただきました。

浜松市民生委員児童委員協議会

〒432-8035 浜松市中区成子町140-8 浜松市社会福祉協議会内

TEL 053-453-0580 FAX 053-452-9218

令和4年度（第82回） 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会

日程：令和4年7月28日（木）、29日（金）

会場：アクトシティ浜松／ホテルクラウンパレス浜松

今年度、関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会を浜松市で開催いたしました。

1日目はアクトシティ浜松中ホールで式典、全体会を行い、記念講演では、（公財）浜松市花みどり振興財団（はままつフラワーパーク）理事長の塚本こなみ氏にご講演いただきました。2日目はホテルクラウンパレス浜松で4分科会に分かれて協議を行い、情報交換、意見交換をすることができました。



浜松市 鈴木康友 市長



全国民生委員児童委員連合会 得能金市 会長



（公財）浜松市花みどり振興財団 塚本こなみ 理事長



代表者・事務局長会議



案内人（浜松駅）



案内人（アクトシティ浜松）



第1分科会

テーマ：「地域版 活動強化方策」の策定に向けて



第2分科会

テーマ：児童委員、主任児童委員活動のアピールと理解を広げるための取り組み



第3分科会

テーマ：持続可能な民生委員活動の継承と人材育成



第4分科会

テーマ：児童虐待防止に関する児童委員・主任児童委員の取り組み

～開催を終えて～

西村百合子 中区 元城・県居地区

猛暑とコロナ禍の下、関東圏の民生委員・児童委員の皆様を浜松市にお迎えし無事に開催できたことに安堵しています。他のブロック大会が中止等される懸念のなか、最大限の感染対策で関係者が一致団結して臨んだ成果で、参加者より賞賛の拍手と感謝の言葉をいただきました。今後の大会開催の先駆けとなり笑顔で交流してお見送りし、大会の幕を閉じました。

村松 信子 東区 和田地区

第2分科会では4民児協（神奈川県・栃木県・静岡県・横浜市）の実践発表がありました。その中の神奈川県の「転入児世帯訪問事業」は、町の委嘱を受けたボランティア「母子保健推進員」と主任児童委員が、未就園児のいる世帯へ一緒に訪問する事業です。見えにくい子どもへの支援として、既に30年近く継続しているとの事、素晴らしい取り組みだと思いました。

野末あけみ 北区 引佐地区

テーマが「児童虐待防止に関する児童委員・主任児童委員の取り組み」という第4分科会に参加しました。児童相談所へ来てからでは遅いケースが多く、日頃からの予防的事業（発生予防、早期発見、早期対応、再発防止、ネットワークへの参加）が重要とのこと。そのためには、顔が見えて繋がること、孤立させないことが大事だと研修を受け、改めて児童委員としての研鑽が必要だと再認識しました。

村瀬 純子 天竜区 佐久間地区

第2分科会「主任児童委員活動のアピールと理解を広げるための取り組み」に参加しました。4名の方から実践報告があり、それぞれに工夫しながら活動している姿に感銘を受けました。子どもの問題は子どもを取り巻く家族や地域の問題であること、地域全体で考えることが大切であると再確認をするとともに、出来ることから始めてみよう、思いを新たにしました。

コミュニティ・スクール

令和2年度から浜松市立の小・中学校でコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が始まりました。

「やらまいか！地域とともにある学校づくり」をキャッチフレーズに令和6年度までに浜松市立の全ての小・中学校で実施されます。

・小学校（北浜東小学校）

鈴木 博（浜北区 北浜第二地区）

市のコミュニティ・スクール方針を受け、令和3年度からスタートした学校運営協議会に、初代会長として参加している1年半の経験と感想を中間報告します。

結論を言えば緊張感ある経験をさせて頂いていることが挙げられます。民児協や自治会の基本組織定例会やそれに関わる多くの各種会議に参加している現況の中で、学校運営協議会は最も緊張感がある会議の一つとなっています。今でも自治会関係者から「評議員制度とどこが違う」と聞かれます。私も経験した評議員は校長の諮問機関で意見を述べた後は校長にお任せという感じで現学校運営協議会とは全く別物です。

さて本題ですが、何とんでも会の陣容が厳粛です。会の構成は、学校側が校長・教頭・担当、協議会委員は地域代表3人と保護者代表3人に学校と地域の接点を担うコーディネーターの7人です。加えて、所管の教育委員会・会運営ディレクター・議事録担当者を含め総勢13～4人が同席し必然的に気合が入ります。議論内容も「何をすれば何ができるか」という前向きな討議がテンポよく進行しています。

当面は「この地域の伝承等を学校主体で再開すること、学校支援者の募集を多面的・組織的に行うこと」が中心です。未だ1期目の半分でこれからが重要ですが、地域側も学校との良き競い合いを心掛け、提案と実行に励む所存です。



・中学校（曳馬中学校）

高山良子（中区 曳馬南地区）

私の地域の学校では令和3年度からスタートしました。

メンバーは、学校・家庭・地域が一体となつてという事で、教職員・PTA役員経験者・自治会連合会長をはじめ地域住民等10数名で構成され、私も運営委員として参加しています。

私の参加している中学校では校長先生から”学校経営書”に基づく説明を受け、また生徒・保護者の学校教育活動についてのアンケート結果を読ませて頂き、熟知することができました。

学校教育目標として『夢と希望と勇気を持って生きる、そして自分らしさを大切に、より良い集団作りに取り組む』と挙げられています。

まだまだ地域とのつながりが希薄であると感じています。

子ども達も地域の行事、例えば伝統ある祭り・防災訓練・ボランティア活動等に積極的に参加して地域との関わりを深めてもらいたいと思います。

中学の場合、職業体験が年間計画に組み込まれているので、地域の人材・資源を生かしながら活動につなげていく努力の必要性を感じました。

今後、協議を重ねるごとに実践し、地域との絆を深めていけたらと思います。

浜松市学習支援事業 はままつ子どもの学習教室

浜松市では、地域で子どもを支える体制づくりの一環として、地域の支援団体と協力して、学習支援事業を実施しています。『教科書予習・復習や宿題などの学習で、わからないところを教えてほしい!』そんな子どもたちに学習支援ボランティアが寄り添い、学びをサポートします。

- ・対象：経済的な理由や家庭環境により学習支援を必要とする原則小学4年生から中学3年生までの児童生徒のうち希望者
- ・費用：無料
- ・持ち物：学校の宿題や教材、筆記用具など
- ・開催：概ね週1回、2時間程度開催しています。

現在の学習支援事業実施会場数

中 区	東 区	西 区	南 区	北 区	浜北区	天竜区
12	2	3	2	3	3	1

～南区で実施している「寺子屋しんづ」の紹介～ 澤根 緑（南区 新津地区）

1. 「寺子屋しんづ」あゆみ

- ・「全国民生委員互助共助事業 民児協活動振興事業助成金」を活用し、浜松市社協、小学校、スクールソーシャルワーカーと連携し、子どもの貧困支援の一環で新津地区民児協にて学習支援を事業化。夏・冬・春休みの長期休暇中に新津協働センターで各2日間実施。（助成期間：平成27.28年度）
- ・平成29年度より南区地域力向上事業、新津地区自治会連合会に支えられ実施。
- ・平成30年9月より、会場を「社会福祉法人ほなみ会」へ移し、毎月1回開催に変更。
- ・令和2年4月より、浜松市学習支援事業（市受託事業）として「社会福祉法人ほなみ会」が受託・運営し、新津地区民児協はお手伝いの立場となりました。

2. 「寺子屋しんづ」概要

- ・利用児童・生徒数：20名（令和4年9月1日現在）
- ・周知：地区担当民生委員・児童委員及び主任児童委員が支援を必要とする児童・生徒に声掛け。
- ・送迎：「ほなみ会」公用車を活用。
- ・学習支援員：浜松南高生、教員OB・OG、「ほなみ会」職員、一般会社員、民生委員・児童委員、主任児童委員等。※今春卒業した南高生から、この支援がきっかけで教職の道へ進学したと連絡がありました。
- ・「継続は力なり」 度々課題に直面しますが、スクールソーシャルワーカーとの連携が本事業の成功の鍵に感じます。
- ・利用者の記憶の中に「寺子屋しんづ」で過ごした時間が少しでも残ると嬉しいです。



民生委員・児童委員活動を振り返って



南区 白脇地区 市民児協 副会長 井村元子 委員

この度の一斉改選を機に10期30年勤めさせていただきました民生委員・児童委員を退任いたします。

平成6年1月から、主任児童委員の創設と共にお引き受けしました。平成13年の主任児童委員の法定化、各地区民児協への複数人数の配置と共に、10年間の主任児童委員活動を経て、平成16年12月に民生委員・児童委員に委嘱されました。30年間の民生委員活動は、私の後半生の人生で最も有意義な期間でした。関わりの少なかった福祉への開眼となり、常に支援を必要とする立場の方に視点を合わせお互いに社会を構成する一員として、福祉と日々の向上のために、微力ながら、多くの皆様のご支援ご協力をいただき務めさせていただきました。

平成29年には、民生委員制度創設100周年を祝う全国大会が、天皇皇后両陛下ご臨席のもと盛大に開催され、その場に立ち会う事ができた貴重な巡り合わせを大変嬉しく思いました。

昨今では、新型コロナウイルス感染予防、感染拡大防止のため、緊急事態宣言が発令されるなど、民生委員活動にも支障があり大変でした。友愛訪問できず1人暮らしの高齢者の方々が心配でしたが、全て電話での対応としました。互いのため律しあい、誰もが安全に安心して住みつづける事ができ笑顔と穏やかな日常が戻ることを願っております。

浜松市民生委員児童委員協議会の発展と皆様のご活躍をご祈念申し上げお礼の言葉とさせていただきます。



東区 笠井地区 市民児協 副会長 清水 猶 委員

健幸のお手伝いのご褒美は「健幸ライフ」

民生委員・児童委員として平成22年12月1日より4,383日（12年）務めさせていただきました。3期目は地区会長、4期目は地区・東区・市副会長として己の身の丈に合った活動を心がけました。この間、地区委員の皆様はもとより、行政の方々、地区会長の皆様、自治会・地域の皆様の温かいご支援とご協力を賜り、今日を迎えることができましたことに心より感謝申し上げます。

これまでは、福祉分野に疎い自分がありました。その上、地域貢献に関しては言わずもがなでした。

委員として『地域住民に安心を届ける』●アンテナ役●相談役●パイプ役を担い、【捨て目と捨て耳を利かそう】を日常活動の視点といたしました。地域の皆様の「ありがとう」と笑顔は、何よりの励みになりました。その上「健幸ライフ」をいただきました。

活動の中で、多くの方と出会い、個性豊かな仲間とともに活動してきた経験やそこで培った識見は、私自身のかけがえのない財産ですし、人生百年時代の【健幸パワー】としたいと思います。退任後も委員の皆様のよき理解者として「誰もが笑顔で安全に、安心して暮らせる街づくり」に協力したいと思います。

結びに、浜松市民生委員児童委員協議会のご発展と委員皆様方の益々のご活躍・ご健勝を祈念し、退任の挨拶といたします。

児童相談所「一日所長」を務めて…。

浜松市民生委員児童委員協議会 会長 杉山晴康

本年5月11日、児童相談所一日所長を務めさせて頂きました。

9時45分会議室には各部署の方々が集合し、この一週間の状況報告が行われました。毎週行われるようで、この間の情報共有がなされるようでした。

始めに一時保護所の状況が報告され、本日午前3時に女兒1名の一時保護が報告され、現在7名の児童が在籍していることが報告されました。

次にいくつかのグループより受理された対象者の援助の状況が報告され、それぞれに意見交換がなされておりました。

なかには、民生委員との連携によるケース会議もあり、対象児童への適切な援助が進められていることも報告され、市民児協会長として大変嬉しく思うとともに、誇りさえ感じました。ケース会議に参加の委員の方には、感謝申し上げたいと存じます。

この会議においては、児童相談所の活動上、私ども民生委員が協力できることは最大限協力させて戴く事を申し上げて参りました。

この会議の他に一時保護所「わかばのいえ」、児童養護施設「清明寮」を訪問させていただきました。紙面の関係で詳細は省かせていただきますが、今回一日所長を務めさせて頂き、私達民生委員は児童委員でも有る事を考えると、児童相談所とはもっと連携・協力すべき事柄があるのではないかと考えさせられました。

皆様のお考えをお聞かせ下さい。



主任児童委員啓発ポスター

主任児童委員活動推進部会 鈴木幸子（浜松市民生委員児童委員協議会 副会長）

主任児童委員活動推進部会（委員構成は市民児協正副会長と各区の主任児童委員の代表11名）は主任児童委員の存在や活動を幅広く市民に知ってもらう手段の一つとして啓発用ポスターを作製しました。

昭和から平成と時代が移り少子化の進行とともに児童虐待をはじめとする子どもや子育て、家庭をめぐる課題が多様化するなか児童委員活動の充実及び活性化を目的に、平成6年1月に主任児童委員制度が創設されました。主任児童委員への期待が高まる一方、社会的認知度は低く、役割を果たすためには、住民及び関係機関の認知、信頼が不可欠であり、制度や活動への理解の促進のため委員からも積極的、継続的なPR活動に取り組むことが必要との意見が出されていました。

そこで浜松学芸高校美術部の生徒さんの協力を得て、4種類の啓発ポスターを作製しました。キャッチコピーは「主任児童委員は子育て応援団」またサブタイトルは『ひとりで悩まないで』、『気軽にお声かけください』として小・中学校、高校、行政機関などに掲示しました。ポスターには地区担当委員の氏名が記載されているので、声をかけられたという委員もあり、手応えを感じています。これからも児童委員との連携を図りながら地域の子どもたちを見守っていきます。



● 外部研修等報告（令和4年4月1日～令和4年9月30日）

研修名	開催日	開催地	参加人数 (浜松市)
令和4年度指定都市社協・民児連連絡協議会	—	書面開催	—
令和4年度(第82回)関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会	7月28日～29日	アクトシティ浜松 ホテルクラウンパレス浜松	52名

● 研修（市民児協主催等）実績（令和4年4月1日～令和4年9月30日）

研修名	開催日	会場	参加人数 (浜松市)
令和4年度第1回浜松市主任児童委員研修会（法定）	8月26日	浜北文化センター	133名
令和4年度 1期目研修会（改選前）	8月29日	サーラ音楽ホール	508名



主任児童委員研修会



1期目研修会



広報啓発推進部会 3年間ありがとうございました。

編集委員

- 小出映裳（部会長）
- 西村百合子 ● 高山良子 ● 村松信子 ● 長尾良夫
- 澤根 緑 ● 野末あけみ ● 鈴木 博 ● 村瀬純子 ● 鈴木幸子（オブザーバー）